

事務事業評価シート(総括表)

| | | | | | | | |
|---|--|--------------------|--------|--------|---------------------|--------|-----|
| 事務事業 | 67 | 平和啓発事業の推進 | | | | | |
| 章 | 2 | ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち | | | | | |
| 大項目 | 05 | 平和の推進と国際化への対応 | | | | | |
| 施策 | 01 | 平和事業の推進 | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | | |
| 目的 | 平和に関する認識を一層深めるため、「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和の啓発普及活動を推進します。 | | | | | | |
| 対象・手段 | 区民、特に戦争を知らない世代を対象に、「平和展」などの地域に根ざした啓発活動を行います。平和のポスターを描くことを通して、平和を願う児童・生徒を育成します。 | | | | | | |
| 成果(事業が意図する成果) | | | | | | | |
| 平和を願う児童・生徒と平和の大切さを深く認識できる区民を育てることで、平和な社会を構築します。 | | | | | | | |
| 事業成果指標 | | | | | | | |
| 指標名 | | 定義 | | | 目標水準 | | |
| 平和のポスター展への参加率 | | 応募校数 / 全学校数 | | | (平成19年度) 100% の水準達成 | | |
| 平和講演会の参加者数 | | 参加者数 / 参加目標数 | | | (平成19年度) 100% の水準達成 | | |
| | | | | | () 年度に () の水準達成 | | |
| 成果の達成状況 | | | | | | | |
| | | 単 位 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 備 考 |
| 事業成果指標 | 目標値 1 | 校 | 43.00 | 43.00 | 41.00 | 41.00 | |
| | 実績 1 | 校 | 24.00 | 24.00 | 25.00 | 26.00 | |
| | = / | % | 55.81 | 55.81 | 60.98 | 63.41 | |
| | 目標値 2 | 人 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | |
| | 実績 2 | 人 | 80.00 | 100.00 | 77.00 | 100.00 | |
| | = / | % | 80.00 | 100.00 | 77.00 | 100.00 | |
| | 目標値 3 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | 実績 3 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | = / | % | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 事業の実施内容 | | | | | | | |
| 平成17年度 | 平和展は新宿歴史博物館と共催で実施。平和のポスター展も同時開催。他に本庁舎1Fロビーでパネル展示を実施。親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業を実施。平和都市宣言20周年記念事業(平和のつどい開催 記念誌2000部発行)。平和市長会議参加。平和のポスター展の開催(対象は小学校4・5・6年生、中学校1・2・3年生、養護学校生徒。7/30から9/4まで歴史博物館で開催)。 | | | | | | |
| 平成18年度 | 平和展は3会場で開催。うち新宿歴史博物館で平和のポスター展と同時開催。親と子の平和派遣、平和派遣者との協働事業等の平和関連事業を実施。平和のポスター展の開催(対象は小学校4・5・6年生、中学校1・2・3年生、養護学校生徒。7/22から7/30まで歴史博物館で開催)。 | | | | | | |

| 部名称 | | 総務部 | | 課名称 | | 総務課 | |
|--|---|-----|---|--------|--------|--------|----------------------------------|
| | | 単 位 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 備 考 |
| トータルコスト | 事業費 | 千円 | 1,988 | 2,570 | 10,899 | 2,487 | |
| | 人件費 | 千円 | 3,335 | 3,335 | 3,335 | 3,312 | |
| | 事務費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 減価償却費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 総計 = + + + | 千円 | 5,323 | 5,905 | 14,234 | 5,779 | |
| | 受益者負担 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 純計 = - | 千円 | 5,323 | 5,905 | 14,234 | 5,779 | |
| | 受益者負担率 / | % | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 財源内訳 | 一般財源 = - | 千円 | 5,323 | 5,905 | 14,234 | 5,779 | |
| | 特定財源 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 一般財源投入率 / | % | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | |
| 職員 | 常勤職員 | 人 | 0.40 | 0.40 | 0.40 | 0.40 | |
| | 非常勤職員 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 事業に関する検討課題 | | | | | | | |
| <p>戦後62年が経過し、戦争の悲惨さを直接に継承する人が少なくなっている現状のなかで、若い世代に平和の大切さに関する認識を一層深める事業を推進していく必要があります。</p> <p>平和のポスター展への児童・生徒の参加率を高めることが重要です。しかし、限られた授業時数の中で、そのための時間数を確保するための工夫が必要となっています。</p> | | | | | | | |
| 評価基準に基づく評価と理由 | 達成度 | 2 | 平和展、平和派遣者との協働事業等は、多くの方々に参加いただき、アンケート結果も好評でした。 | | | | |
| | 効率性 | 2 | 平和展の開催期間を原爆投下日前後にすることで、関心を引きやすく効率的です。学校教育の中に、国際理解教育推進と共に、各教科等における平和に関する学習を推進し平和についての認識強化を図っています。 | | | | |
| | 実施の成果 | 2 | 事業参加者のアンケート結果からは成果があったと言えます。学校教育という集団生活を通して、共に尊重し合う態度を育成し、平和に関する認識を一層深め、平和を願う児童・生徒の育成を目指しています。 | | | | |
| | 行政の関与 | 3 | 全ての施策は平和があつてのものです。今後も平和啓発は必要です。「新宿区平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和啓発を推進することは国際社会に生きる人材育成に資するもので行政の責務です。 | | | | |
| | 妥当性 | 2 | 次代を担う子どもたちを主な対象にし、平和事業を展開することは妥当と言えます。平和に関する教材を各教科等でも取り上げ、恒久平和を願う心情を育成していきます。 | | | | |
| | 施策寄与度 | 2 | 平和の大切さについて考える機会を提供しており、施策目的達成に寄与しています。国際社会に生きる日本人として様々な考え方や価値観を尊重し、国内・国外にかかわらず共存できる社会の実現を目指し、継続的に平和について学習することが必要です。 | | | | |
| 総合評価 | 平和は区民生活の基本を成すもので、平和について考える契機となる平和啓発事業は今後も継続的に推進していく必要があります。今後も学校教育全体の中で、継続して恒久平和を願う児童・生徒を育成することは有意義です。平和のポスター展のみならず、各教科等における平和に関する単元での学習等、各学校の実態に即した多様な展開を模索することが重要です。 | | | | | | B 過年度評価 |
| | | | | | | | 17年度 A 16年度 B 15年度 14年度 |
| 改革方針 | 戦後62年が経過し、戦争の悲惨さを直接継承する人が少なくなっているため、各事業について常に改善を図り、より多くの人に関心を持っていただけるよう工夫していきます。 | | | | | | 方向性 |
| | 平和展は、区民から募集した戦争体験画や広島平和記念資料館等から貸出しを受けた写真やポスター等を展示するなど、毎年展示物の内容を変更していますが、今後とも関心を高めていただけるよう展示物を工夫して開催します。さらに、各事業に映画上映等を併せて開催し、集客増を目指すことを検討します。学校教育においては、今後とも教育全体の中で、多様な機会を活用し、恒久平和を願う児童・生徒の育成をしていきます。 | | | | | | 1 現状のまま継続 |